

市民の皆さんが発電した電力を小中学校で活用していきます！

～国内初の実事業「静岡市エネルギーの地産地消事業」のさらなる発展～

静岡市では、地域経済の活性化、防災機能の向上、環境負荷の低減などを目指し、平成29年度から国内初の実事業「静岡市エネルギーの地産地消事業」に取り組んでいます。

事業に取り組む中で、受託者である鈴与商事(株)と、間もなく固定価格買取制度の買取期間が満了を迎える太陽光発電の余剰電力の活用方法について検討を進めてきました。

そして、この度、太陽光発電の余剰電力を「静岡市エネルギーの地産地消事業」の地産電源に組み込むことで、事業のさらなる発展を図ります。

1. 取組の概要

社会の課題

- 2009年11月に始まった家庭用太陽光発電の余剰電力の固定価格買取期間は10年間

市民の皆さまが余剰電力の売却先を探す必要がある

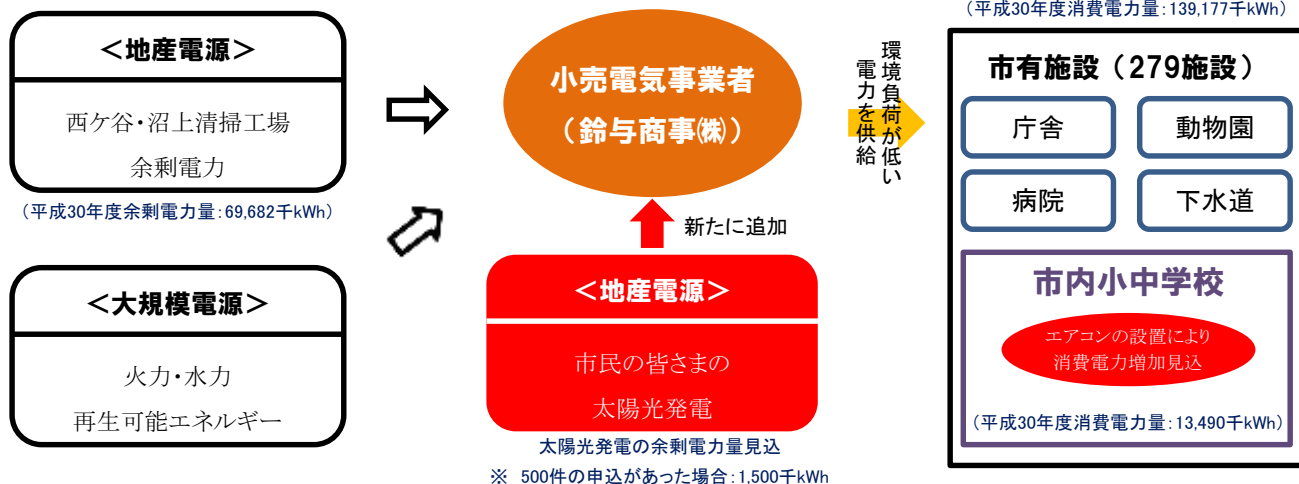
静岡市の課題

- 小中学校にエアコンが導入されることで電力消費量が増加する

新たな地産電源（環境負荷の低い）を探す必要がある

市民の皆さまが各家庭で発電している、環境に優しい太陽光発電設備の余剰電力を地産地消事業の受託者が買い取り、小中学校のエアコンの電力として活用する仕組みを確立

【新たなエネルギーの地産地消事業の仕組み】



売却した電力の活用先を明確化し、市政参画意識向上の機会を創出

余剰電力の買取対象等の詳細は別紙参考資料2をご参照ください。

2. 事業効果と目指すべき姿

SDGs未来都市で掲げる「経済」「社会」「環境」の三側面の相乗効果の創出

<経済の地域内循環>

- 市域内での電力取引による経済の地域内循環の発生
- エネルギーマネジメント技術のさらなる発展

経済



<市民参画機会の創出>

- 市政への市民参画意識を高める機会の創出
- 児童生徒が静岡市の未来について考える機会を創出

社会



環境に優しい地産電力の活用による
エネルギー地産地消事業の発展



<環境負荷の低減>

- 市内余剰電力の活用による地産電源のさらなる拡大
- 環境に優しい電力の活用によるCO2排出量の抑制

環境



問い合わせ先：環境局環境創造課温暖化対策係 電話：054-221-1077